
とある一日now

エイター

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とある一日の物語

【著者名】

ヒタ
Hitter

Z5519P

【あらすじ】

上条さんたちのある一日の話ですね
上条さんは、ツイッターにはまっているようです

(前書き)

たいへんだつたよ

と、携帯でしかも朝7時にツイートしてみた
上条さんは、結構暇だったり、ツイッターでツイートしている
今日は日曜日なので結構暇だったのだ

「さて・・・今日は何しようかな・・・」

インデックスさんは仕事で一時的に帰国している
いないと意外とやる事がないのだ

「とりあえず・・・散歩にでも行くか

”散歩に行くnw”

つと打ち、ドアを開けた

公園に着いた

”公園に着いたぜ！！（>_>）”

つとあまりわからぬ様な顔文字打ち込み、周りを見渡すと

御坂美琴がそこにいた

（ビリビリはつけんってやつてる暇ないぞーー今すぐーーから離
れた方が良い気がするーー）

しかし、その時にはすでに遅し・・・

御坂まるでバビュンという効果音が聞こえなくらいこのスピードで
こっちに来たのであった

「あんたここで何やつてんの？」

（御坂に捕まつた。）（涙）

「いや……別に暇だつたから散歩してただけだ」

「」

確かにただいま8時15分。あきらかには早かつた

「何か早く起きちゃつてな……やることないんですよ。ただいまの上条さんは……逆にお前は何してたんだ？」

「わたし?……同じよ。日曜日だからつて黒子は、ジャッチメントの方に行つちやうし……何か食べようと思つたと、一人は何かきつこし……」

どうやら御坂は、お腹が空いていた

（せういや俺も食つてなかつたな……）

そう想つてゐるとある一つの事を想つてゐた

「なあ、御坂」

「なによ」

「ここド一ツ提案があるんだナビ……」

そうこうと話し始めた

~~~~~

ここは、上条さんが住んでゐる、男子寮。ここである男のところに、嫌がらせ交じりで会いに行くことになった（突然……隣の朝）はん……みたいなのが）

ピンポン

はーはー……とめんどくわうな声を上げて扉が開いた

「つたぐ・・・。誰だよ・・・」んな朝早くに・・・」「ひやつほ～～！～！慎也～～おはよう～～！」

• • • • •

## 扉がしまつた

俺が女飯食う可れか。ハガヨ。作<sup>ハ</sup>てくが<sup>ハ</sup>い。」

はあゝツと溜息を漏らす慎也

「だつたらアポぐらいとつとけ！…」

もつともな意見である  
その後かなり怒られた

「…まあつづいてやるから、待つてなさい。」

慎也はキツチンに向かつた  
待ちながら上条さんは「うう思つた

(何かわからんねえけど良い日になりそうだ)

だから彼は、

”良い田になりそうtoday”

とツイートした

e  
n  
d

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5519p/>

---

とある一日now

2010年12月18日15時34分発行